



私たちは花が好き。緑が好き。人が好き。

園芸福祉ふくおかネット

No.46

2017年12月号

ネット通信 花 便 り



グリップキャンペーン 2017 ウェルカムガーデン 『ようこそ、秋色に染まる五感の庭へ・・・』

目 次

平成 29 年度『福岡市長表彰』受賞しました	P2
福岡市役所玄関花壇がきれいになりました！	P3
グリップキャンペーン 2017 ふりかえり	P4～P6
海の中道海浜公園「癒しのこけ玉体験」教室	P6
3年目の福祉園芸体験事業	P7
特別支援学校で寄せ植えづくり	P8
園芸福祉の庭 ～テーマ花壇の植栽～	P9
初めてのオープンガーデンツアー	P10
事務局からのお知らせ	P11

平成 29 年度『福岡市長表彰』受賞しました

代表 谷口 博隆

11月2日(木)「平成29年度福岡市福祉のまちづくり推進大会」が福岡市民会館で開催されました。「ボランティア等功労者(永年にわたり、地域や社会福祉施設等においてボランティア活動や金銭・物品寄贈を行った功績)団体として、園芸福祉ふくおかネットが『福岡市長表彰』を受賞致しました。昨年は福岡市長から感謝状、福岡市社会福祉協議会会長から表彰状を頂きました。

これもひとえに会員みなさまが長年花や緑など植物をとおして、広く活動を続けて来られた賜物と思います。思えば園芸福祉ふくおかネットが平成16年(2004年)7月17日に設立して、今日までの長きに渡り多くの会員が、それぞれの地域や場面で園芸福祉活動を展開してこられた結果だと思います。

今回頂いた表彰を励みとして、みんなで花のまちづくりをより一層推し進め、心やすらぐ美しいまちづくり活動に取り組んでいきましょう。師走に入り寒さも厳しくなってきました。会員みなさま体調に十分留意して、戌年の新年を笑顔で迎えられるよう祈念いたします。



福岡市役所玄関花壇がきれいになりました！

代表 谷口 博隆

一般社団法人福岡市造園建設業協会より創立 30 周年を記念して、11 月 29 日(水)福岡市役所と議会棟の玄関花壇に会員や市職員、緑のコーディネーター、市民ボランティアさんと花を植えてきれいにします。その後の管理についてお話しがあり、現場の状況を見に行きました。天神中央公園側の市庁舎玄関両サイドと中央警察署の向かい側の議会棟の玄関花壇がきれいな花などで埋め尽くされています。この事業は 10 年間継続されるとのこと、とても素晴らしいことだと思います。

花壇の植え込みが終わって、式典があり高島市長から別府会長へ感謝状が贈られました。市民はもとより多くの外国からのお客様にもきれいな花壇を体感して頂き「アジアのモデル都市となるまちづくり」が花の力によりさらに大きく広がることを願うとともに、園芸福祉ふくおかネットの活動がより充実することを期待しています。



みんなで植付け



植付け完了



議会棟前花壇



高島市長より別府会長へ感謝状贈呈

グリッピキャンペーン ふりかえり

秋恒例『グリッピキャンペーン2017』10月14(土)・15日(日)
舞鶴公園(中央区)で開催されました。

スタッフとして参加

村口 照美

当日は雨となりましたが、会場の入り口には園芸福祉ふくおかネットのウエルカムガーデンづくりチームによる大きな苔玉がある癒される庭、『ようこそ、秋色に染まる五感の庭へ・・・』が作られていました。雨に濡れて大きな苔玉と緑の庭がとてもきれいでした。庭の中には、子ども達がビー玉で遊ぶエリアもあり、雨の中でも楽しく遊んでいました。

テントでは苔玉作りや種でお絵描き、多肉植物の寄せ植えなどが催され、多くの方が参加され楽しく作品を作られていました。私の小学1年生の孫も昨年から参加し、今年も楽しんでおりました。孫の作った作品を見て成長が感じられました。

その時の作品は大事に飾っています。今年のイベントでは、ハンギングバスケット作りも開催され、男性、女性問わず参加され思いおもいに作品作りに没頭されていました。



テント内イベント

あいにくの雨となってしまいましたが、多くの方々が参加され今年もとても良いイベントとなりました。来年も多くの方々に楽しんでいただけるイベントとなる様、私も尽力してまいりたいと存じます。

緑の恵み、園芸福祉ショップ

二俣 はるみ

会員の作品や農産物販売を通してお客様との交流を期待していましたが、あいにくの天候で来場者が少なかったことが残念でした。今回も工夫を凝らした作品や新鮮な農産物を求めやすい価格で、良い商品を自信をもって販売できることがうれしかったです。会員の作品としては寄木造りの鉢に多肉植物の寄せ植え・小石原焼の器に寄せ植え・ハーブ(石鹸・サシェ)・シーグラスクリスマスツリー等の出品がありました。興味をもって手に取る方が来られたら、製作者に correspond してもらい、お客様との交流が出来たかと思えます。作品の中には心惹かれるものがあり、最後まであったものを買入しましたが、担当者が購入しては「ちょっと目的から外れたな」との反省があります。

農産物については、一日目は曇り空だったので農産物目当てのお客様がボツボツこられて、里芋、米、さつま芋は早々に売り切れてしまい、あとはミカンで勝負という事になりました。

昨年は天気が良くて、ミカンを求める人が多くて、追加してもらおうほどでしたが、今回は気温が低く、商売は天候に左右されることを実感した二日間でした。

それでもお客様の中には「去年良かったから、今年も来たよ」と来店され、私たちのショップを楽しみにしている方がいることがわかってよかったです。

種でお絵描きを担当して

北野 多美子

今年は園芸福祉ふくおかネットの体験コーナー『種でお絵描き』を担当しました。コルクボードに木工ボンドで自由に思い思いの下絵を描き、その上に会員の皆さんの協力で集めてもらった花や野菜・果物などのいろいろな種類の種をボードに貼り付けて絵を描き、完成作品はお持ち帰りいただきました。昨年からの改良点として写真フレーム（2種類）を使用し、作品は飾ることができるようになりました。幼児・児童など小さなお子さんは、作品作りに取り掛かるまでに戸惑われることも多いので、事前に会員の皆さんに作品を制作してもらい見本として掲示しました。

参加された方は作り始めると真剣なまなざしで作品づくりに夢中になり、親子、兄弟などで話し合ったりして作っている姿はとても微笑ましく、見ている私たちも笑顔になります。

今回は天気に恵まれず、子どもさんの来場がとても少なかった

ことが残念でした。会員の皆様に種の提供、見本用の作品づくりにご協力頂きありがとうございました。



進化する多肉植物の寄せ植え

山崎 博子

グリップキャンペーンでの多肉植物の寄せ植えも今年で5回目になります。これまでは針金をクルクルとまいて卵の殻を包み吊り下げるもの、会員がエコ鉢を作りその中に多肉の寄せ植え、卵の殻に多肉を植えて梱包緩衝材ウッドパッキンを使い巣ごもり風のものなど、試行錯誤しながら進化しています。今年は麻ひものマクラメ編みを実施しました。小さな卵の寄せ植えですが、卵の殻を集めてくれた方、マクラメ編みを作ってくれた方、多肉を育ててくれた方、多くの方々の知恵と、ご協力の賜物です。どこにでも釣り下げることができ、おしゃれ!

可愛い花も咲き、四季を感じる紅葉もあります。庭がなくても大丈夫、水やりは忘れた頃にあげても大丈夫。「緑の入門」者には最適です。

来年はどんなのが出来るのでしょうか。
いまから楽しみです!



定番人気のコケ玉！

米倉 治美

眺めていると心が癒されると大人気のコケ玉。今回、園芸福祉ふくおかネットの定番「癒しのコケ玉作り」を担当しました。使った植物はシャムオリズラン、スコッチシダ、コバンノ木、斑入りヤブコウジ、ルエリア・デヴォシアナの5種類。この中から参加者にお好みの植物を選んでいただき、コケ玉作りを体験していただきました。

「植物をポットから出して根鉢の土を少し落としてください。根鉢をまるく丸めたら次はケト土で包みます」。参加者の皆さんはコケ玉作りの説明を真剣に聞きながら作られました。

コケを糸で巻きコケ玉が完成すると緊張がほぐれたのでしょうか。皆さん満面の笑顔になられ、テント内は和やかな雰囲気になっていきました。



ステージイベント：苔玉づくり



ハンギングバスケットづくり体験



海の中道海浜公園 癒しのこけ玉体験教室

須賀 陽子

10月8日(日)海の中道海浜公園での癒しのこけ玉体験教室のスタッフとして参加しました。お天気にも恵まれて爽やかな秋の一日となりました。今回指導する中で、ひと工夫したところがあります。丸いケト土を簡単に広げる方法です。発砲スチール製のお椀を利用します。お椀の側面に沿って土を丸く広げていきます。お客様は初心者や小さな手のお子様達です。

この方法により手を汚さずに同じ厚みに広げることが可能になりました。こうして研修を重ねている会員の日々のアイデアや創意工夫が活かされていくことは、楽しい活動を続けている原動力にもなっていると思いました。更なる飛躍のために、定番講座が市民の皆さまの日々の暮らしに潤いをもたらすよう広めていきたいものです。

3年目の福祉園芸体験事業

黒瀬 恵子

農林水産省国産花きイノベーション推進事業の実施主体である花あふれるふくおか推進協議会から福祉園芸体験の依頼を受けて、2015年より県内の福祉施設で利用者さんにハンギングバスケットづくりを体験していただいています。これまで生け花や寄せ植え、フラワーアレンジメントなど経験された方も、ハンギングバスケットづくりは初めての体験のようでした。

施設の利用時間内に利用者さんが楽しみながら作品を完成させて達成感を味わっていただけるよう、事前に講師たちが容器の側面にビオラの花苗を8ポット植えて準備し、利用者さんには天部の4ポットを植えて完成させていただきます。体験中に容器を倒したりしないで成功体験を味わって頂きたいという思いから、容器を固定するスタンドを谷口代表が考案製作。これにより車椅子利用者の方も椅子に座ったまま花を植えて作品を完成することが出来ます。完成作品は養生を終えて施設のフェンスなどに目の高さに展示することで、リハビリを兼ねて花がら摘みをすることもできます。

昨年、施設管理者の方から「利用者さんがハンギングバスケットの展示場所まで歩いて行かれ、散歩の距離が伸びました」と嬉しいお話も伺うことができました。3年目になる今年度は、特別支援学校でも実施するようになりました。

これまで、福岡市都市緑化推進行事（グリップキャンペーン）などで、ハンギングバスケットを制作、展示して来た私達が、初めてハンギングバスケットづくりを体験される方に、丁寧で適切な指導ができるよう、そして楽しんでいただけるよう、更に気を引き締めて頑張りたいと思います。



特別支援学校で寄せ植えづくり

黒瀬 恵子

10月31日(火)福岡市特別支援学校「博多高等学園」(博多区)で、グリーンの寄せ植えづくりの指導を谷口代表と一緒にさせていただきました。昨年の学校公開では直ぐに販売完了し、大好評だったからと、今年は生徒さん1人に3個ずつ、全部で30個の作品を作るようになりました。

植物はヘデラ(黄色斑入り&白斑入り)、プミラ、ヤブコウジ、ワイヤープランツの4種類です。学園で準備された小さな容器に、ヘデラとワイヤープランツ、ヘデラとヤブコウジというように、分けたヘデラやワイヤープランツを他の植物と組み合わせて丁寧に植えていきます。細かな作業ですが、生徒さんはとても熱心に制作に取り組まれます。ワイヤープランツやヘデラで動きが出て、ポット苗が作品へと変わっていきます。

最後にミズゴケを1本1本手に取り、丁寧に仕上げで完成です。先生は「わあー、かわいい!」「すてきー!」と歓声を上げながら、目を作品と生徒さんの間を行ったり来たりさせて、本当に嬉しそうです。生徒さんも納得のいく作品が出来上がりとても満足そうでした。グリーンの寄せ植えは今年も完売!生徒さんの自信に満ちた笑顔が目に見えるようで、この事業に関わることで園芸福祉を体感しています。

学園の「CAFÉ 桐の花」にも飾られました。



園芸福祉の庭 ～テーマ花壇の植栽～

黒瀬 恵子

11月18日(土) 福岡市NP0・ボランティアセンターあすみん(中央区今泉)で、園芸福祉ふくおかネットの定例会で「維持管理をしているアイランドシティ中央公園の園芸福祉の庭のテーマ花壇が、いつの間にかどの花壇も同じような植栽になっています。もう一度初心にかえり、テーマ花壇毎に植栽をした方が良いのでは」という意見が出ました。確かに夏の間どの花壇も同じように、ポーチュラカや大輪松葉ボタンが植えられていました。月1回の定例作業のため仕方なくと言うのが本音でしょうが・・・。

11月26日(日)の定例作業で各花壇をテーマに合わせて植栽をすることにしました。ビオラ、パンジー、ストック、バコパ、ハボタンなどの花苗24ケースを準備しました。どの花壇にも植えられていたポーチュラカや大輪松葉ボタンを撤去後、クワやスコップを使って天地返し(※天地返しとは土の表層と深層を入れ替えること)をして谷口代表から土づくりの指導を受け、地域や各場面で活動慣れしている会員たちも「勉強になります」と聞き入っていました。

各テーマに沿った花壇を担当者が思いを込めてデザインして植え込みました。多くの参加会員が高齢になっているので、時折パラついた小雨を心配しましたが、皆さんは雨が降りだしたことやお昼をとくに過ぎてしまっていることなど気にもかけず、夢中で花壇づくりを楽しんでいました。

作業は1日かかりましたが、出来上がった花壇を前に写真を撮ったり、まるで初級園芸福祉土養成講座を思わせる雰囲気でした。「子どもたちと楽しめる花壇」は、担当者が皆さんもよ～く知っているあるものをデザインしていますよ!



ストレス解消のための花壇

淡色の花でリラックス感、香りでヒーリング効果のある花などを、曲線で植栽しました。



子どもたちと楽しめる花壇

可愛い植栽デザインに、庭のオブジェ(乗り物・動物)を飾っています。



高齢者も楽しめる花壇

高齢の方になじみのある植物を使い、四季の情緒を感じられように植えています。



視覚障がい者も楽しめる花壇

植物による五感(視覚・触覚・臭覚・聴覚・味覚)の刺激を考慮。花の色彩や香る花やハーブ、竹の風鈴を飾っています。



車いすでも楽しめる花壇

車いすの方や高齢者が作業しやすいよう配慮されたレイズドベッド(花壇を立ち上げたもの)は、花に触れたり、花の香りを楽しんでもらえます。





初めてのオープンガーデンツアー

田中 節子

以前からチラシや案内を見る度に参加したいと思っていたオープンガーデンツアーに行ってきました。今回は宗像市の吉田邸・福津市の村上邸、東区香椎の佐口邸の三か所を巡りました。吉田邸は宗像市大井です。団地の中の坂を上りきって下りた山裾にありました。目の前に広がる田園風景に整備された公園がありました。吉田先生の説明を聞きながら春のバラ庭園を映像で観ました。庭に出たのガーデニング講座は葉ボタン、ノースポール、パンジー、ビオラ、真ん中にカノユリの球根を入れた寄せ植えの講座でした。カノユリが芽を出し、花をつける春が楽しみです。お弁当昼食後は広い庭の散策、たくさんの種類の草花がありました。

初めてのツアーは白いバラの花に魅せられ、おいしいお弁当付き、寄せ植えのお土産付きの大満足オープンガーデンツアーでした。今度は春のお庭も見たいと思っています。

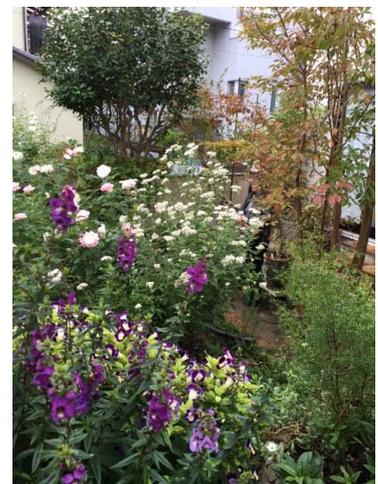
企画していただいた皆さんに感謝いたします。



吉田 博美先生は宗像の固有種カノユリの復活にもご尽力され、第26回全国花のまちづくりコンクール「花のまちづくり大賞」(農林水産大臣賞)を受賞されています。



どちらのお宅もガーデン雑誌に出てきそうなステキなお庭で、見入ってしまいました。





事務局からのお知らせ



▶ 園芸福祉ふくおかネット定例会

- 毎月/第3(土) 15:00~17:00
- ところ/福岡市NPO・ボランティア交流センター「あすみん」天神クラス4階
事業活動報告と計画、会員の活動状況、園芸福祉活動の情報交換、作品紹介など。
- 定例会の後は「ちょっと一杯!」へ。
楽しい会話が弾む飲ニケーションで盛り上がってま〜す。気軽にお越しください。

▶ 「園芸福祉の庭」定例作業日

- 定例作業/毎月・最終日曜日 10:00~12:00
- ところ/アイランドシティ中央公園
園芸福祉の庭（福岡市東区香椎照葉4丁目）
活動内容は花壇の維持管理（花がら摘み、除草、花苗植込み・撤去、水やり、施肥など）。
作業後は茶話会。活動近況や花の育て方・土づくり、園芸福祉に関するプチ勉強会など。
- 豪雨や気象災害などが予想されるときは中止、次の日曜日に変更です。（小雨決行）

▶ 年会費納入のご案内

- 平成 29 年度の年会費（2,000 円）の納入がまだお済でない方は、お早目にお振込みをお願い致します。
- お振り込み先/ 西日本シティ銀行 小笹支店
店番 222 普通預金
口座番号 1025817
園芸福祉ふくおかネット 代表 谷口 博隆
- 入会手続きのご案内
- 入会を希望される方は事務局（下記に掲載）にご連絡下さい。その後上記口座に年会費2,000 円をお振り込み頂き、入金確認後に入会となります。
- 活動と一緒にされているお仲間やお友だちなどで、まだ園芸福祉ふくおかネットの会員でない方がいらっしゃいましたらお気軽にお誘いください。

● 園芸福祉ふくおかネット事務局 ●

〒810-0033 福岡市中央区小笹 1-9-25

TEL : 090-8626-1586 (黒瀬)

FAX : 092-521-6247

E-mail : engeifukusi.fukuoka@hya.bbiq.jp

URL : <https://www.engeifukusi-fukuoka.net/>

花便り 第46号 平成29年12月20日

発行人 園芸福祉ふくおかネット 谷口 博隆